

学校支援体制の充実

国の事業計画(概要)

学校の教職員構造の転換 ～チーム学校の推進～

- 我が国の教員の置かれている現状
1. 我が国の学校は教員以外の専門スタッフが諸外国と比べて少ない。>教職員総数に占める教員の割合 日:82%、米:56%、英:51%
 2. 児童生徒の個別のニーズが多様化しており、教員に求められる役割が拡大。
 3. 教員の1週間当たり勤務時間は日本が最長。>日本:53.9時間(参加国平均38.3時間) 出典:『国際教員指導環境調査(TALIS)』

チーム学校の推進

- ・教員を中心に、多様な専門性を持つスタッフを学校に配置し、**学校の教育力・組織力を向上**。
- ・校長のリーダーシップの下、**教職員や様々な専門スタッフがチームとして適切に役割分担**。
- ・これにより、**教員は授業など子供への指導に一層専念**。



① 教職員(義務標準法で基幹的な教職員として規定):900人の新たな定数措置を実施。

チーム学校の推進 230人

- 学校マネジメント機能の強化 :100人
主幹教諭・事務職員の拡充
- 専門人材の配置充実 :100人
学校司書、ICT専門職員等の専門的な知見を有するスタッフを配置
- 養護教諭・栄養教諭等の配置充実 :30人

その他の定数改善 670人

- 授業革新等による教育の質の向上 :200人
従来のような受け身型の授業から、子供達が主体的・協働的に学ぶ課題解決型授業(アクティブ・ラーニング)への転換等を図る。
- 個別の教育課題への対応 :250人
- 学校規模の適正化への支援 :220人

② 資格等を有する専門スタッフ:学校の実情に応じ、補助金等により拡充。



スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置拡充 H27予算案:47億円(対前年度 2億円増)

1. スクールカウンセラーの配置拡充

- 小中学校の相談体制の連携促進(200校→300校)
- 貧困対策のための重点加配(600校)【新規】**
(スクールカウンセラーの主な業務内容)
 - ・児童生徒へのカウンセリング、教職員、保護者に対する助言・援助
 - ・事件・事故等の緊急対応における児童生徒等の心のケア 等

2. スクールソーシャルワーカーの配置拡充

- 配置数の増 1,466人→2,247人
- 貧困対策のための重点加配(600校)【新規】**
(スクールソーシャルワーカーの主な業務内容)
 - ・福祉関係の関係機関・団体とのネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供 等

※このほか、医療的ケアのための看護師の配置(H27予算案:約330人)などを計上

③ サポートスタッフ:学校の実情に応じ、補助金等により拡充。



学習サポーター H27予算案:41億円(対前年度 8億円増)

- 配置人数 8,000人→10,000人
(主な業務内容)
 - ・補充学習、発展的な学習への対応
 - ・教材開発・作成など教師の授業準備や授業中の補助 等

運動部活動指導の工夫・改善支援 H27予算案:3億円(対前年度同)

- (主な事業内容)
 - スポーツ医・科学の知見を有する者等の外部人材の活用や研修の場の整備等
- 指導体制の充実を図る

※このほか、理科の観察実験補助員(H27予算案:3,100校)などを計上